

次亜添加型洗浄剤クリーンα使用による部材腐食を抑制させた新洗浄方法の構築

～添加剤を添加せずに使用して～

河内 美幸¹ 勝 佳奈¹ 尾田 祐二¹ 立花 直樹¹ 川澄 正朗¹

(医) 生寿会日進クリニック¹

【目的】

洗浄方法の変更で配管継手・コンソール内部の金属腐食を防ぐことができるのか？

【方法】

次亜添加型洗浄剤クリーンαを添加せず使用し次亜とクリーンαは別々にシングルパス洗浄にて行なう。

【結果】

1年経過したがカプラー表面の目視において、次亜単独洗浄時に見られた緑色の付着物である錆は確認できなかった。清浄化においても問題はなかった。

【考察】

洗浄方法の変更で配管及びコンソール内部の部品は非常に錆び難くなった。

【結語】

洗浄方法の変更で従来と比べ錆の発生を極力抑え水質清浄化も行なえている。